

問題解決能力を育成する指導の工夫

— 「課題追究シート」を活用した工業高校の課題研究を通して —

工業班 清水 幹郎（高等学校教諭）

主題設定の理由

企業が求める人材

- 従来から求められている人材像
 - ・専門的な知識や技術
 - ・協調性 など
- 新たに求められるようになった人材像
 - ・問題解決能力
 - ・コミュニケーション能力 など

生徒の実態

- ・課題解決に向けて主体的に取り組める生徒が少ない。
- ・指示待ちの生徒が多く、自ら課題解決することができない。



「問題解決能力」の育成が必要である！！

研究の概要

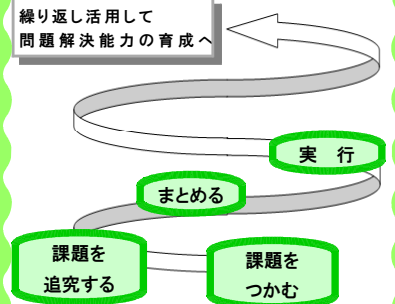
工業の科目「課題研究」において、課題解決を図ることができる「課題追究シート」を、毎回の振り返りの場面で繰り返し活用することにより、問題解決能力の育成を目指す。

「問題解決能力」とは

- ① 課題を把握する力（課題をつかむ力）
- ② 原因を追究する力（課題を追究する力）
- ③ 解決策を見いだす力（まとめる力）
- ④ 解決策を実行する力（実行する力）

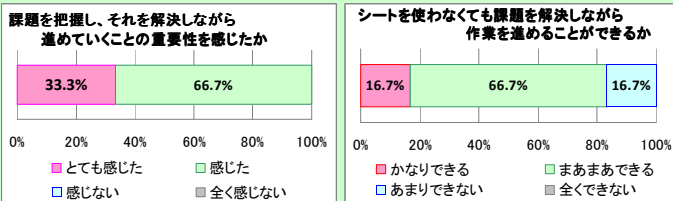
「課題追究シート」の内容

- ① 課題をつかむ
作業終了時の自己評価や同じ班の生徒からの評価により、課題を把握する。（グループワーク）
- ② 課題を追究する
「なぜできなかったのか」を考える。
- ③ まとめる
解決策を見いだし、まとめる。
- ④ 実行する
次回の授業で、見いだした解決策を実行する。



研究の結果

活用後のアンケート結果



活用後の生徒の感想

1回目は書き方を迷うこともあったが、回数を重ねるにつれて慣れてきた。良くも悪くも、自分を責めるところは自分の失敗などを振り返れるので良いと思う。

作業を進めていく中で課題を把握しながら出来たという事はとても大きかった。さらに、自分が気がつかない所を友達に指摘してもらい、気がついた所を改善できる点は良かったと思う。このシートを使うことで、作業が速く進んで良かったと思う。結果的にこのシートを有効に使えたと思う。

普段から自分の反省を振り返り機会がなかったので、自分を責めずとも、見直しやすくなったと思う。進捗や課題を把握するに当たり、自分の責任を持つことは大切だと、改めて実感できた。今後のためにも使いたいです。

自分から進んで授業を振り返ることが大切だと感じました。

授業でのミスに気がつき、改善点も見つかった。また、改善点を次の授業に活かしていきたい。

その日の反省などか、できていいと思う。



研究のまとめ

成果

- ① 自己評価及び他者評価により、自己の課題を把握することができた。
 - ② なぜできなかったのか考えることで、原因を追究することができた。
 - ③ 原因を追究することで、解決策を見出すことができた。
 - ④ 解決策を実行することで、主体的に課題を解決することができた。
- 以上のことから、「課題追究シート」は問題解決能力の育成に有効であったと考えられる。

課題

- 課題解決に向けた学習を主体的に行わせるには継続して「課題追究シート」を活用していく必要がある。
- 課題を把握して解決策を見いだすだけでなく、課題を解決しようとする意欲を喚起させる支援も行わなければならない。



自分で解決するぞ！